

科 目		ピアノ I (通期)			
担当教員	菅田睦子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要					
目的	ピアノの基本的な演奏技術と演奏表現を学習する。12調のスケールと和音を身につけ調性感を養う。時代背景を踏まえてバロック、古典、ロマン、近現代まで様々な作品を演奏することによって豊かな音楽表現を習得する。				
2. 講義計画					
第 1 週	オリエンテーション	第 1 9 週	ピアノ個人レッスン 1 4		
第 2 週	ピアノ個人レッスン 1	第 2 0 週	ピアノ個人レッスン 1 5		
第 3 週	ピアノ個人レッスン 2	第 2 1 週	ピアノ個人レッスン 1 6		
第 4 週	ピアノ個人レッスン 3	第 2 2 週	ピアノ個人レッスン 1 7		
第 5 週	ピアノ個人レッスン 4	第 2 3 週	ピアノ個人レッスン 1 8		
第 6 週	ピアノ個人レッスン 5	第 2 4 週	ピアノ個人レッスン 1 9		
第 7 週	ピアノ個人レッスン 6	第 2 5 週	ピアノ個人レッスン 2 0		
第 8 週	ピアノ個人レッスン 7	第 2 6 週	ピアノ個人レッスン 2 1		
第 9 週	ピアノ個人レッスン 8	第 2 7 週	ピアノ個人レッスン 2 2		
第 1 0 週	ピアノ個人レッスン 9	第 2 8 週	ピアノ個人レッスン 2 3		
第 1 1 週	ピアノ個人レッスン 1 0	第 2 9 週	ピアノ個人レッスン 2 4		
第 1 2 週	ピアノ個人レッスン 1 1	第 3 0 週	ピアノ個人レッスン 2 5		
第 1 3 週	ピアノ個人レッスン 1 2	第 3 1 週	ピアノ個人レッスン 2 6		
第 1 4 週	ピアノ個人レッスン 1 3	第 3 2 週	ピアノ個人レッスン 2 7		
第 1 5 週	前期定期試験リハーサル 1	第 3 3 週	後期定期試験リハーサル 1		
第 1 6 週	前期定期試験リハーサル 2	第 3 4 週	後期定期試験リハーサル 2		
第 1 7 週	前期定期試験 1	第 3 5 週	後期定期試験 1		
第 1 8 週	前期定期試験 2	第 3 6 週	後期定期試験 2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書 :					
参考書 :					
6. 注意事項					
ピアノを使っの個人指導・練習					

科 目		リトミック I (通期)			
担当教員	菅原洋子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要					
目的	リトミックとは音楽を聞き分け身体反応をすることで、心と体の調和を目的とする音楽療法である。本授業では、リトミックの基本的な動きの体験と、その意味を理解することを目的とする。また、障害児者のリトミック体験の例を交えながら活動する。				
2. 講義計画					
第 1 週	オリエンテーション、音楽の指導項目	第 1 9 週	前期の復習、基礎リズムと即興、いろいろな身体の動き、2・3・4・6拍子		
第 2 週	基礎リズム、即時の反応、不定期アクセ	第 2 0 週	前期の復習、歌の表現		
第 3 週	ント、歌とリズム、音感	第 2 1 週	前期の復習 ミニテスト		
第 4 週	まとめ・ミニテスト	第 2 2 週	2・3・4拍子と基礎リズムの複合、創造的活動と即興、歌の表現		
第 5 週	テンポ、2・3拍子、音高線、リズムパ	第 2 3 週	"		
第 6 週	ターン、強弱、子どもの表現遊び	第 2 4 週	"、ミニテスト		
第 7 週		第 2 5 週	自然の表現、指揮、空間と音楽表現、即興メロディを創作		
第 8 週	まとめ・ミニテスト	第 2 6 週	"、リトミック幼児指導グレード3級		
第 9 週	複合リズム、4拍子、リズムフレーム、	第 2 7 週	"、音調と自由表現		
第 1 0 週	弛緩、歌と形式	第 2 8 週	"		
第 1 1 週		第 2 9 週	"、ミニテスト		
第 1 2 週	まとめ・ミニテスト	第 3 0 週	基礎リズムと即興		
第 1 3 週	期末試験提示	第 3 1 週	期末試験提示		
第 1 4 週	北海道リトミックセンターリトミック講習会参加	第 3 2 週	まとめ		
第 1 5 週	まとめ	第 3 3 週	試験準備 1		
第 1 6 週	模擬試験	第 3 4 週	試験準備 2		
第 1 7 週	前期定期試験 1	第 3 5 週	後期定期試験 1		
第 1 8 週	前期定期試験 2	第 3 6 週	後期定期試験 2		
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
実技科目なので出席を第一とし、欠席はできるだけしないこと。 ミニテストを行う。 日常点および定期試験（筆記+実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：ドレミのおもちゃ箱、ポケット歌集				
参考書	：				
6. 注意事項					
ステック、ボールを使用					

科 目		音楽療法実習 I (通期)			
担当教員	菅原洋子・小川いづみ	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	136 単位時間		
1. 概要					
目的	校外で行う実習に向けて、基礎的な知識を身に着け実践できる技術を学ぶ。音楽療法実践の手法を学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	円山キッズステーション「PAL」、	第 1 9 週	円山キッズステーション「PAL」、		
第 2 週	NPO法人わたげ放課後ディサービス野いちご、	第 2 0 週	NPO法人わたげ 放課後ディサービス野いちご、		
第 3 週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、	第 2 1 週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、		
第 4 週	特定非営利法人はぐくみ会、	第 2 2 週	特定非営利法人はぐくみ会、		
第 5 週	ひばりが丘保育園、	第 2 3 週	ひばりが丘保育園、		
第 6 週	福祉生協イリス イリス北8条、	第 2 4 週	福祉生協イリス イリス北8条、		
第 7 週	福祉生協イリス イリスもとまち、	第 2 5 週	福祉生協イリス イリスもとまち、		
第 8 週	有料老人ホーム ソレイユ、	第 2 6 週	有料老人ホーム ソレイユ、		
第 9 週	はまなす介護センター	第 2 7 週	はまなす介護センター		
第 1 0 週	各施設にて交代に実習を行う。		第 2 8 週	各施設にて交代に実習を行う。	
第 1 1 週		第 2 9 週			
第 1 2 週		第 3 0 週			
第 1 3 週		第 3 1 週			
第 1 4 週		第 3 2 週			
第 1 5 週		第 3 3 週			
第 1 6 週		第 3 4 週			
第 1 7 週		第 3 5 週			
第 1 8 週		第 3 6 週			
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	:				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽教育学Ⅰ（通期）			
担当教員	小川いづみ	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68単位時間		
1. 概要					
目的	スイスジュネーブのエミール・ジャック＝ラルクローズが考案した「リトミック」の音楽療法について、その理論を学び、リトミックの利点を理解したうえで、どのように音楽療法に活動できるかを学ぶ。また同時に即興演奏法を学び、即興演奏を活かせる力をみにつける。				
2. 講義計画					
第1週	序章	第19週	前期の復習とリズムフレーズ		
第2週	第1章「基礎リズム」1	第20週	「楽しく豊かなリトミック」より第7章”リズムフレーズ”		
第3週	第1章「基礎リズム」2	第21週	第7章”リズムフレーズ”（3/4と2/4）		
第4週	第1章「基礎リズム」3 第2章「音感」1	第22週	第7章”リズムフレーズ”（6/8）		
第5週	第2章「音感」2	第23週	第8章「複合」1		
第6週	第2章「音感」3 第3章「アクセント」1	第24週	第8章「複合」2		
第7週	第3章「アクセント」2 第4章「拍子」1	第25週	第8章「複合」3		
第8週	第4章「拍子」2 第5章「即時反応」1	第26週	第8章「複合」4		
第9週	第5章「即時反応」2 第6章「リズムパーン」1	第27週	第8章「複合」5 第9章「想像的表現」1		
第10週	第6章「リズムパーン」2 第6章「リズムフレーム」1	第28週	第9章「想像的表現」2 第10章「曲」1		
第11週	第6章「リズムフレーム」2	第29週	第10章「曲」2		
第12週	第6章「リズムフレーム」3	第30週	第10章「曲」3		
第13週	第6章「リズムフレーム」4	第31週	第10章「曲」4		
第14週	第6章「リズムフレーム」5 第8章「複合」1	第32週	第11章「楽譜」1		
第15週	第8章「複合」2	第33週	第11章「楽譜」2		
第16週	第8章「複合」の復習	第34週	試験準備		
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1		
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：「たのしく豊かなリトミック」				
参考書	：				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法演習 I (通期)			
担当教員	小川いづみ・菅原洋子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法の対象者および具体的活動の種類など基礎知識を学び、実践に向けて様々な楽曲を修得する。四季に合わせた曲、行事の沿った曲、童謡・唱歌、戦前の歌謡曲、戦後の歌謡曲、民謡と踊り、わらべ歌、軍歌などあらゆる分野の楽曲を広く理解し、実践に向かう準備をする。				
2. 講義計画					
第 1 週	福祉生協イリス イリス北8条、	第 1 9 週	福祉生協イリス イリス北8条、		
第 2 週	福祉生協イリス イリスもとまち、	第 2 0 週	福祉生協イリス イリスもとまち、		
第 3 週	有料老人ホーム ソレイユ、	第 2 1 週	有料老人ホーム ソレイユ、		
第 4 週	はまなす介護センター	第 2 2 週	はまなす介護センター		
第 5 週	※各セッションの準備・練習		第 2 3 週	※各セッションの準備・練習	
第 6 週		第 2 4 週			
第 7 週		第 2 5 週			
第 8 週		第 2 6 週			
第 9 週		第 2 7 週			
第 1 0 週		第 2 8 週			
第 1 1 週		第 2 9 週			
第 1 2 週		第 3 0 週			
第 1 3 週		第 3 1 週			
第 1 4 週		第 3 2 週			
第 1 5 週		第 3 3 週			
第 1 6 週		第 3 4 週			
第 1 7 週		第 3 5 週			
第 1 8 週		第 3 6 週			
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験+実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	:				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法技能 I (前期)			
担当教員	一戸憲子	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	セッションで使用されると思われる曲の伴奏付け、移調奏を行う。 曲にあった伴奏付け、対象者の音域にあった調で演奏できるようにすることを目的とする。				
2. 講義計画					
第 1 週	「春が来た」「春の小川」メロディ奏 C.F.Gのコードの説明				
第 2 週	前回の復習 こいのぼり メロディ奏と伴奏				
第 3 週	「こいのぼり」「どんぐりころころ」「かもめの水兵さん」				
第 4 週	「夢のお馬車」「蛍」「港」				
第 5 週	「雨降りお月さま」「たなばた」「かたつむり」				
第 6 週	「バラが咲いた」「今日の日はさようなら」				
第 7 週	「森の水車」「揚げば尊し」「雨」				
第 8 週	「赤い帽子白い帽子」「シャボン玉」「知床旅情」				
第 9 週	「知床旅情」「くつがなる」				
第 10 週	「みかんの花が咲く丘」				
第 11 週	「夕日」「うれしいひな祭り」				
第 12 週	「我は海の子」「あの町この町」				
第 13 週	「上を向いて歩こう」				
第 14 週	「上を向いて歩こう」「浜辺の唄」				
第 15 週	試験準備 1 (試験曲の練習)				
第 16 週	試験準備 2 (試験曲の練習)				
第 17 週	前期定期試験 1				
第 18 週	前期定期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法技能Ⅱ（後期）			
担当教員	一戸憲子	学年	1	履修期間	後期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	セッションで使用されると思われる曲の伴奏付け、移調奏を行う。 曲にあった伴奏付け、対象者の音域にあった調で演奏できるようにすることを目的とする。				
2. 講義計画					
第 1 週	「荒城の月」「船頭小唄」「里の秋」 伴奏付け 弾き歌い				
第 2 週	「星の秋」伴奏づけ 「蛍の光」G→Cに移調の練習				
第 3 週	「蛍の光」G→C 伴奏づけの続き 「たき火」弾き歌い 2つの伴奏 「2は若い」D→C 移調奏				
第 4 週	「お花がわらった」「となりのトトロ」の弾き歌い				
第 5 週	「となりのトトロ」弾き歌い 「おべんとうばこのうた」 「さんぽ」弾き歌い				
第 6 週	「おべんとうばこのうた」「ジングルベル」「ドレミのうた」 弾き歌い				
第 7 週	「さんぽ」をコードで弾けるようにする 「ドレミの歌」弾き歌い				
第 8 週	「さんぽ」暗譜の練習 「どんな色が好き」「ドロップスの歌」 伴奏				
第 9 週	「さんぽ」の復習 「ドロップスの歌」「ハッピーバースデー」弾き歌い				
第 10 週	「ドロップスのうた」「どんな色が好き」「バナナが1本」「とんとん友達」弾き歌い				
第 11 週	「さんぽ」の復習 「とんとんともだち」「山の音楽家」「やきいもグーチャーパー」伴奏づけ				
第 12 週	「さんぽ」の復習 「とんとんともだち」「南の島のハメハメハ大王」伴奏と弾き歌い				
第 13 週	「公園に行きましょう」伴奏 弾き歌い				
第 14 週	試験曲「お花がわらった」「ドレミの歌」「おつかいありさん」「おべんとうばこのうた」「さんぽ」の練習				
第 15 週	試験曲「お花がわらった」「ドレミの歌」「おつかいありさん」「おべんとうばこのうた」「さんぽ」の練習				
第 16 週	試験曲「お花がわらった」「ドレミの歌」「おつかいありさん」「おべんとうばこのうた」「さんぽ」の練習				
第 17 週	後期定期試験 1				
第 18 週	後期定期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法各論Ⅲ（前期）			
担当教員	一戸憲子	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	講義	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	高齢者への音楽活用の理論的な基礎と、実用的アプローチについて学ぶ。ケアを必要とする高齢者の生活の質を高めるために音楽をどのように活用するか、各人、考えることを目標とする。				
2. 講義計画					
第 1 週	日本における音楽療法の幕開け				
第 2 週	西洋音楽と医学の歴史について 音楽療法の対象者について 音楽療法の治療について				
第 3 週	音楽療法の治療理論 人間学的治療理論について 行動科学的治療理論について				
第 4 週	脳と音楽 脳機能とリズムの不思議な関係について				
第 5 週	老年精神医学 老年精神疾患の特徴 痴呆の診断と評価スケール				
第 6 週	高齢者音楽療法の目標とプログラムの作り方について				
第 7 週	認知症のための音楽療法実践研究報告 効果と尺度について				
第 8 週	認知症のための音楽療法実践と症例報告				
第 9 週	認知症予防をめざした音楽療法の効果と可能性について 音楽療法の研究方法について				
第 10 週	脳の仕組みについて 資格情報の処理 ブローカ野とウェルニケ野 前頭連合野の働き				
第 11 週	脳と睡眠について レム睡眠とノンレム睡眠 睡眠と脳内ホルモンについて				
第 12 週	脳の発達について 脳と社会 脳の発達過程 脳と神経細胞				
第 13 週	脳の様々な病気について 脳の機能低下について				
第 14 週	脳の病気について 脳死の判定 脳についてまとめ				
第 15 週	前期の授業のポイント				
第 16 週	試験準備				
第 17 週	前期定期試験 1				
第 18 週	前期定期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：プリントにて対応				
参考書	：				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法各論Ⅱ（後期）			
担当教員	一戸憲子	学年	1	履修期間	後期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	講義	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	成人の精神科領域の音楽療法について学ぶ。様々な精神疾患について学び、理解を高める。				
2. 講義計画					
第 1 週	日本における精神科医療への音楽療法の導入 精神科医療における様々な治療 1				
第 2 週	精神科医療における様々な治療法 2				
第 3 週	精神科医療における様々な治療法を詳しく学ぶ				
第 4 週	様々な療法（精神障がい領域）家族療法 芸術療法 行動療法 S.S.T 来談者中心療法について				
第 5 週	精神科医療における音楽療法の対象について				
第 6 週	慢性期の音楽療法 オープングループ音楽療法 ディケアの音楽療法について				
第 7 週	精神科で行われる音楽療法のいろいろ。能動的な方法について				
第 8 週	トーンチャイムの使い方 「ふるさと」「春が来た」「聖夜」「バラが咲いた」「知床旅情」「たきび」				
第 9 週	オートハープを弾いてみる 「ジングルベル」「四季の歌」「春千鳥」「ドレミの歌」				
第 10 週	精神科で行われている音楽療法のいろいろ 受動的な方法について				
第 11 週	音楽療法におけるプログラムと脱プログラムについて 疾患とそれに対応する音楽療法について				
第 12 週	感情言語、肉体言語としての音楽について 音楽の選択				
第 13 週	精神療法としての音楽療法について				
第 14 週	まとめ				
第 15 週	試験準備 1				
第 16 週	試験準備 2				
第 17 週	後期定期試験 1				
第 18 週	後期定期試験 1				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：新訂 高齢者の音楽療法				
参考書	：				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法概論 I (前期)				
担当教員	菅原洋子	学年	1	履修期間	前期	
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業				
種別	講義	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	音楽療法の定義、発達と歴史、対象者の理解と治療的ニーズについて学ぶ。対象者の理解と治療的ニーズを学ぶことにより、どのような援助ができるか各人、考えることを目標とする。					
2. 講義計画						
第 1 週	オリエンテーション	学習の進め方				
第 2 週	音楽療法の概要	音楽療法な何かを学ぶか				
第 3 週	音楽療法の歴史	古代文明における音楽の使用				
第 4 週	音楽療法の歴史	中世 ルネッサンス時代の音楽の使用				
第 5 週	音楽療法の歴史	アメリカにおける音楽療法の発達				
第 6 週	人間と音楽	子供の音楽的成長について				
第 7 週	人間と音楽	青少年と成人の音楽活動について				
第 8 週	社会における音楽	メリアムの 10 項目の音楽の社会的機能について				
第 9 週	音楽療法の対象者	知的発達障害児 (者) のための音楽療法				
第 10 週	音楽療法の対象者	精神障害の治療における音楽療法				
第 11 週	音楽療法の対象者	高齢者に対する音楽療法。老化の身体的、心理的理論を学ぶ				1
第 12 週	音楽療法の対象者	高齢者に対する音楽療法。老化の身体的、心理的理論を学ぶ				2
第 13 週	音楽療法の対象者	高齢者に対する音楽療法。老化の身体的、心理的理論を学ぶ				3
第 14 週	まとめ					
第 15 週	試験準備 1					
第 16 週	試験準備 2					
第 17 週	前期定期試験 1					
第 18 週	前期定期試験 2					
3. 関連科目及び注意点						
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験 (実技試験) により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: 音楽療法入門 1 理論と実践					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		音楽療法統計学（後期）			
担当教員	菅原洋子	学年	1	履修期間	後期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	1. 音楽療法の効果を実証的研究手法を身に着けるため、統計学を理解し、実際の音楽療法の評価に生かすことを目標とする。 2. 即興演奏力を養成し、音楽療法の実施に生かすことを目標とする。				
2. 講義計画					
第 1 週	音楽療法研究法 1～音楽療法の治療の課程 即興 1 「基礎リズム」「拍子」「動物」				
第 2 週	音楽療法研究法 2～音楽療法の効果の実証的研究 即興 2 「2拍子と基礎リズム」「動物」				
第 3 週	音楽療法研究法 3～データの理解 即興 3 「3拍子と基礎リズム」「動物」				
第 4 週	音楽療法研究法 4～研究手法 即興 4 「4拍子と基礎リズム」「動物」				
第 5 週	音楽療法研究法 5～統計の基礎概念 即興 5 ミニテスト「拍子と基礎リズム」				
第 6 週	音楽療法研究法 6～統計法 即興 6 ミニテスト「動物」				
第 7 週	音楽療法実習評価 内容の確認 即興 7 <3級><2級>				
第 8 週	音楽療法研究のまとめ 即興 8 <3級><2級>				
第 9 週	音楽療法研究法 課題提出				
第 10 週	音楽療法評価の実際 1 目標と観察 即興 9 小川の流れ				
第 11 週	音楽療法評価の実際 2 データと評価 即興 10 そよ風と台風				
第 12 週	実証的な実習評価のまとめ方 1 即興 11 自然の表現				
第 13 週	実証的な実習評価のまとめ方 2				
第 14 週	まとめ				
第 15 週	試験準備 1				
第 16 週	試験準備 2				
第 17 週	後期定期試験				
第 18 週	後期定期試験の講評				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）およびミニテストにより評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽史（前期）			
担当教員	越野陽子	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	講義	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	音楽の歴史を知ることにより、人間がどのように音楽(芸術)と関わって来たかを学びます。人間の心の成熟のために音楽がもたらした功績を理解し、“なぜ音楽療法が有効なのか?”という、原点を探ります。				
2. 講義計画					
第 1 週	ガイダンス 古代～中世～ルネサンス グレゴリオ聖歌～ギョーム・ド・マシキョー				
第 2 週	ルネサンスからバロックへ 「パレストリーナ」～モンテヴェルディ「オリフェオ」				
第 3 週	バロックの器楽 ヴィヴァルディ、バッハ、ヘンデル				
第 4 週	「古典派の音楽」ハイドン、モーツァルト 絶対主義から啓蒙主義へ				
第 5 週	「古典派の音楽」ベートーヴェン				
第 6 週	「ロマン派の音楽」シューベルト、メンデルスゾーン				
第 7 週	「ロマン派の音楽」ショパン				
第 8 週	ショパン「英雄」「革命」				
第 9 週	シューマン「子供の情景」「トロイメライ」「鬼ごっこ」				
第 10 週	ベルリオーズ、リスト 音楽史の流れ概要 中世～ルネッサンス～バロック～古典～ロマン				
第 11 週	19世紀ロマン派オペラ オペラの流れ～ロマン派オペラ ワグナー「ローエングリン」 ヴェルディ「椿姫」				
第 12 週	新古典主義（後期ロマン派）、ブラームス				
第 13 週	国民主義・・・北欧東欧 チェコ・・・スメタナ・・・「モルダウ」 ドヴォルザーク「チェロ協奏曲」				
第 14 週	国民主義・・・ロシア チャイコフスキー、ムソルグスキー「展覧会の絵」				
第 15 週	フランス音楽（近代） ドビュッシー「牧師の午後～」 「垂麻色の～」 ラヴェル「亡き女王のための～」				
第 16 週	試験準備				
第 17 週	前期定期試験 1				
第 18 週	前期定期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		指揮法（前期）			
担当教員	木村純	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	基本的な指揮の知識および技術を取得する。 音楽療法のセッション時のクライアントに対して、指揮法が役立つ。 また、グループで音楽療法セッションを行うときの、集団での練習にも活用できる。				
2. 講義計画					
第1週	①打法（叩き）の確認練習 ②4つ振りの練習 ③3つ振りの練習				
第2週	①4振りと3つ振りの練習 バイエルNo8,9（連弾）②「ラデッキー行進曲」の音出し				
第3週	①2つ振りの練習「ちょうちょ」（連弾）フェルマータからの音切の練習 ②「ラデッキー行進曲」の音出し				
第4週	①早い2つ振りの練習 ②6つ振りの連数 ③「ラデッキー・マーチ」の練習				
第5週	①「春の日の花と輝く」（連弾）②6つ振りの練習③「オーラ・リ」の音出し④「ラデッキー・マーチ」のアンサンブル練習				
第6週	①6つ振りの練習「春の日の花と輝く」（連弾）②指揮法用アンサンブルの音出し③ラデッキー・マーチのアンサンブル練習				
第7週	①4つ振りで左手サインを出す練習②アンサンブルの指揮練習③「ラデッキー・マーチ」の練習				
第8週	①「オーラ・リ」の指揮練習②「野ばら」の指揮練習③「ラデッキー・マーチ」の仕上げ				
第9週	①「オーラ・リ」②「はにゅうの宿」音出し練習③「ラデッキー・マーチ」の練習				
第10週	①「はにゅうの宿」の指揮練習②「ラデッキー・マーチ」の練習				
第11週	「はにゅうの宿」指揮練習 ①音出し ②楽譜チェック ③指揮練習				
第12週	ひばりが丘保育園での実習練習				
第13週	ひばりが丘保育園での実習リハーサル				
第14週	「ラデッキー行進曲」の練習				
第15週	試験対策1「大きな古時計」				
第16週	試験対策2「大きな古時計」				
第17週	前期定期試験1				
第18週	前期定期試験2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: とくに使用しない				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		和声学（通期）			
担当教員	木村純	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要					
目的	和声学とは音楽を構成する縦の響きと横の響きの関係を学ぶ学問である。本講座では、実習先のセッションで行う曲の演習を通して和声を学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	オリエンテーション 授業の進め方について	和声の予備知識	第 1 9 週	後期に向けての予備知識 和声学上の禁則について	
第 2 週	予備知識 四声体について	各声部の音域について	第 2 0 週	和声学上の禁則について 「リトルマーメイド」メドレー	
第 3 週	基本型三和音の配置	高位について	第 2 1 週	「アンダー・ザ・シー」	
第 4 週	密集配分と開離配分について	高位について	第 2 2 週	「リトルマーメイド」メドレー	
第 5 週	基本型三和音の配置	連結	第 2 3 週	アンサンブル練習	
第 6 週	基本型三和音の配置	連結	第 2 4 週	<small>第 1 回転型三和音配置について</small> オクターヴ配分を含む3つの配置について	
第 7 週	共通音のない和声連結		第 2 5 週	<small>第 1 回転型三和音配置について</small> オクターヴ配分を含む3つの配置について	
第 8 週	共通音のある和声連結		第 2 6 週	「happiness」アンサンブル	
第 9 週	共通音のない和声連結		第 2 7 週	「happiness」アンサンブル	
第 1 0 週	共通音のある和声連結		第 2 8 週	「happiness」アンサンブル	
第 1 1 週	基本型三和音の連結		第 2 9 週	「happiness」アンサンブル仕上げ	
第 1 2 週	基本型三和音の連結		第 3 0 週	アンサンブルの書き出し 「いつでも夢を」「青い山脈」	
第 1 3 週	基本型三和音の連結		第 3 1 週	アンサンブルの書き出し 「いつでも夢を」「青い山脈」	
第 1 4 週	基本型三和音の連結		第 3 2 週	アンサンブルの書き出し 「いつでも夢を」「青い山脈」	
第 1 5 週	基本型三和音の連結		第 3 3 週	試験準備 1	
第 1 6 週	基本型三和音の連結		第 3 4 週	試験準備 2	
第 1 7 週	基本型三和音の連結		第 3 5 週	後期定期試験 1	
第 1 8 週	基本型三和音の連結		第 3 6 週	後期定期試験 2	
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: 和声 理論と実習（1）				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽心理学（前期）			
担当教員	一戸憲子	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	人間の音楽に対する生理的、心理的反応を探り、音楽活動全般について基本的理解を深める。 音楽療法場面での音楽活用方法を学ぶことを目標とする。				
2. 講義計画					
第 1 週	音楽と科学について 音楽と生存価値・人は音楽に操られる 音楽が不可欠な現代社会				
第 2 週	音楽が不可解な現代社会 先端技術と音楽 音楽をストレスという側面からとらえると 1				
第 3 週	音楽が不可解な現代社会 先端技術と音楽 音楽をストレスという側面からとらえると 2				
第 4 週	実習先の経過及び結果、考察を書く。考察では主観的に書く練習をする				
第 5 週	音楽心理学の方法 観察法 実験法 質問紙法				
第 6 週	音楽心理学の方法 観察法 実験法 質問紙法				
第 7 週	旋律の高温的側面について				
第 8 週	リズム（旋律の時間的側面）拍節構造の知覚				
第 9 週	リズムの時間的側面について 音楽リズムの運動的側面 感情的側面				
第 10 週	音の響き 音楽の聴取について 様々な聴取の仕方 1				
第 11 週	音の響き 音楽の聴取について 様々な聴取の仕方 2				
第 12 週	音の響き 音楽の聴取について 様々な聴取の仕方 3				
第 13 週	音楽と脳について 脳の構造について 脳損傷研究 機能局在について				
第 14 週	レポートの提出について説明				
第 15 週	刺激的音楽と鎮静的音楽の性質 儀式における音楽について				
第 16 週					
第 17 週	後期試験 1				
第 18 週	後期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	:				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		芸術社会学Ⅰ（通期）			
担当教員	越野陽子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法に不可欠な、様々なジャンルの歌を知る事が目的です。童謡・唱歌・歌謡曲・外国曲・民謡等々、多様な種類と幅広い対象年齢を踏まえて選んだ曲を歌い、伴奏し、先読みし、楽曲の考察を行います。				
2. 講義計画					
第1週	「春が来た」「春の小川」「どじょっこふなっこ」	第19週	「悲しき口笛」「カチューシャの唄」「ゴンドラの唄」		
第2週	「春が来た」「春の小川」「どじょっこふなっこ」	第20週	「コスモス」「ふれあい」「銀色の道」		
第3週	「若葉」「牧の朝」「森の水車」	第21週	「かえり船」「岸壁の母」「りんごのひとりごと」		
第4週	「赤い靴」「青い目の人形」「かなりや」	第22週	「小さい秋みつけた」「月の砂漠」「上海帰りのリル」		
第5週	「おもちゃのチャチャチャ」「おぼけなんてないさ」「サッチャン」	第23週	「世界に一つだけの花」「あの素晴らしい愛をもう一度」「さとうきび畑」		
第6週	「丘を越えて」「高原列車は行く」「憧れのハワイ航路」	第24週	「若者たち」「かあさんの唄」「雪山讃歌」		
第7週	「いつでも愛を」「今日の日はさようなら」「明日があるさ」	第25週	「東京ラプソディ」「銀座カンカン娘」「銀座の恋の物語」		
第8週	「白いブランコ」「シクラメンのかほり」「ブルーシャドー」	第26週	「旅愁」「埴生の宿」「故郷の廃屋」		
第9週	「一寸法師」「花咲じじい」「牛若丸」	第27週	「星に願いを」「虹の彼方に」「小さな世界」		
第10週	「川の流れるように」「人生いろいろ」「水戸黄門」	第28週	「サザエさん」「ドラえもん」「アンパンマンのテーマ」		
第11週	「バラが咲いた」「幸せなら手をたたこう」「花嫁」	第29週	「いい湯だな」「幼なじみ」「恋のバカンス」		
第12週	「真っ赤な太陽」「霧の摩周湖」「瀬戸の花嫁」	第30週	「一杯のコーヒーから」「北国の春」「北の宿」		
第13週	「椰子の実」「宵待草」「琵琶湖周航の歌」	第31週	「地上の星」「時代」「昴」		
第14週	試験課題配布 暗譜10曲 先読み「若葉」	第32週	試験曲決定 暗譜10曲 先読み2曲		
第15週	試験練習1 先読み「丘を越えて」	第33週	「悲しき口笛」		
第16週	試験練習2 暗譜10曲	第34週	「カチューシャの唄」		
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1		
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：音楽療法の現場から贈る 歌の宝石箱 1～3				
参考書	：				
6. 注意事項					

科 目		合唱 I (通期)			
担当教員	越野陽子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要					
目的	合唱の目的は、音を重ねた時のハーモニーの美しさを体感する事。セッションの内容に変化を持たせ、より豊かさを加える為にも、合唱で体験した響きの美しさを、音楽療法の現場で再現させる為の応用法を学びます。				
2. 講義計画					
第 1 週	「校歌」「ロンドン橋+メリーさんの羊」	第 1 9 週	「時代 (二部合唱)」「旅愁」		
第 2 週	「校歌」「遠くへ行きたい」「うるわし春よ」	第 2 0 週	「時代 (二部合唱)」「旅愁」		
第 3 週	「ドレミのカノン」「涙そうそう」	第 2 1 週	「時代 (ハーモニー作り)」「旅愁 (音とり)」		
第 4 週	「うるわし春よ」「涙そうそう」「ダニーボーイ」	第 2 2 週	「旅愁 (二部合唱)」「夜明けから日暮れまで」		
第 5 週	「ドレミのカノン」「ダニーボーイ」「涙そうそう」「麦の唄」	第 2 3 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」		
第 6 週	「ドレミのカノン」「ダニーボーイ」「涙そうそう」「麦の唄」	第 2 4 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由 (音とり)」		
第 7 週	「ドレミのカノン」「ダニーボーイ」「涙そうそう」「麦の唄」	第 2 5 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由」		
第 8 週	「ブルーシャトウ」「パートナーリング」「花まつり」	第 2 6 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由」		
第 9 週	「花祭り」「麦の唄」「はじめの歩」「ほたるこい」	第 2 7 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由」		
第 1 0 週	「はじめの歩」「ほたるこい」	第 2 8 週	「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」		
第 1 1 週	「はじめの歩」「ほたるこい」「コンドルは飛んで行く」	第 2 9 週	「夜明けから日暮れまで」		
第 1 2 週	「はじめの歩 (二部合唱)」「ほたるこい (パート分け)」	第 3 0 週	「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」		
第 1 3 週	「はじめの歩」「ほたるこい」「麦の唄 (パート分け)」	第 3 1 週	「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」		
第 1 4 週	「コンドルは飛んで行く」「ほたるこい」	第 3 2 週	「見上げてごらん夜の星を」		
第 1 5 週	「遠くへ行きたい」「ダニー・ボーイ」	第 3 3 週	「見上げてごらん夜の星を」 (二人で一組 上下パート)		
第 1 6 週	「コンドルは飛んで行く」「ほたるこい」	第 3 4 週	「見上げてごらん夜の星を」 (二人で一組 上下パート)		
第 1 7 週	前期定期試験 1	第 3 5 週	後期定期試験 1		
第 1 8 週	前期定期試験 2	第 3 6 週	後期定期試験 2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験 (実技試験) により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	:				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽通論（前期）			
担当教員	木村純	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34単位時間		
1. 概要					
目的	音楽理論の基礎知識（理論・曲種・形式）を学び、音楽療法士としての音楽表現力を高め、実践的な能力を養う。				
2. 講義計画					
第 1 週	五線の名称 音符記号				
第 2 週	音名と変化記号について				
第 3 週	基本型三和音の配置				
第 4 週	まとめ				
第 5 週	音程について				
第 6 週	5度～8度までの幹音による音程について				
第 7 週	副音程 転回音程				
第 8 週	音程について 派生音のある音程				
第 9 週	長音階について 1				
第 10 週	長音階について 2				
第 11 週	短音階について				
第 12 週	自然的短音階について				
第 13 週	和声的短音階・旋律的短音階について				
第 14 週	旋律的短音階について				
第 15 週	試験準備 1				
第 16 週	試験準備 2				
第 17 週	前期試験 1				
第 18 週	前期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: 改訂 音楽通論 [単行本]				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		器楽 I (通期)			
担当教員	木村純	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法のセッションで行う、器楽での演奏方法を学ぶ。 また、音楽療法実習で演奏する曲の練習も行う。				
2. 講義計画					
第 1 週	アコーディオン ピアノ連弾	第 1 9 週	「勇気100%」「私のお気に入り」		
第 2 週	予備知識 各声部の音域について	第 2 0 週	「虫の声」「まっかな秋」		
第 3 週	「春」「小川」 ピアノ連弾「春が来た」	第 2 1 週	「虫の声」「まっかな秋」「私のお気に入り」		
第 4 週	「ドレミの歌」	第 2 2 週	「虫の声」「まっかな秋」「ディズニー・メドレー」		
第 5 週	「ドレミの歌」 ピアノによるコード練習	第 2 3 週	「ディズニー・メドレー」		
第 6 週	「ドレミの歌」 連弾による和音練習	第 2 4 週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第 7 週	「エーデルワイス」「ドレミの歌」	第 2 5 週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第 8 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 2 6 週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第 9 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 2 7 週	「おどるポンポコリン」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第 1 0 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 2 8 週	「おどるポンポコリン」「お正月の3つの歌」		
第 1 1 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 2 9 週	「おどるポンポコリン」「お正月の3つの歌」「ジングルベル」		
第 1 2 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 3 0 週	「おどるポンポコリン」「冬の星座」		
第 1 3 週	「小さい秋見つけた」	第 3 1 週	「おどるポンポコリン」「虹と雪のパラード」		
第 1 4 週	「小さい秋見つけた」	第 3 2 週	「おどるポンポコリン」「虹と雪のパラード」		
第 1 5 週	試験準備 1	第 3 3 週	試験準備 1		
第 1 6 週	試験準備 2	第 3 4 週	試験準備 2		
第 1 7 週	前期定期試験1	第 3 5 週	後期定期試験 1		
第 1 8 週	前期定期試験 2	第 3 6 週	後期定期試験 2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: 特に使用しない				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		声楽・ソルフェージュ I (通期)			
担当教員	越野陽子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時	68	単位時間	
1. 概要					
目的	音楽療法士には、明るい声でセッションを進める能力が必須です。声楽の授業では、大勢の対象者の前でも良く通る響きの良い発声法を身につけるため、基本的な腹式呼吸を徹底させ、美しい歌唱法の獲得を目指します。				
2. 講義計画					
第1週	ガイダンス ソルフェージュ「故郷」8小節聴音 コンコーネNo1譜読み	第19週	コンコーネNo7 「大学女子音楽」(1)(2)イタリア語・装飾音のうたい方		
第2週	「故郷」うた 「ドレミの歌」聴音 コンコーネNo1 発声法の基礎	第20週	コンコーネNo7 8譜読み 「大学女子音楽」(3)		
第3週	コンコーネNo1 (D)終了 ドレミの歌続き	第21週	コンコーネNo8 譜読み 聴音(6)(5) 視唱		
第4週	コンコーネNo3譜読み Are you sleeping ロンドン橋 書き取り	第22週	コンコーネNo8 聴音3/4(8)×3問 [Caro mio ben]		
第5週	コンコーネNo3 「びっくり」のテーマ 「ヘンゲレ」テーマ	第23週	コンコーネNo8,9譜読み [Nina] C3/4Ⓢ×3問		
第6週	コンコーネNo3 「手をたたきましょう」記譜	第24週	コンコーネNo9 [Nina] C4/4Ⓢ×2問		
第7週	コンコーネNo3 「大きな栗の木の下で」「いとまき」	第25週	コンコーネNo9,10譜読み C4/4Ⓢフォスター「故郷の人々」		
第8週	コンコーネNo4 「ぶんぶんぶん」	第26週	コンコーネNo9,10 「スワニー河」「ロンドン橋」		
第9週	コンコーネNo4 「手とたたきましょう」「アマリリス」	第27週	コンコーネNo11譜読み [Lascia chio pianga]メロディのみ		
第10週	コンコーネNo4 シャボン玉 チューリップ Fdur移調譜	第28週	コンコーネNo11 [Lascia chio pianga]歌詞付き		
第11週	コンコーネNo4 赤い鳥小鳥 Fdur移調譜	第29週	コンコーネNo12 音とり Gdur 3/4 8×2問		
第12週	コンコーネNo5 かわいいオーガスティン めだかの学校	第30週	コンコーネNo50-No7,8,10 視唱 聴音		
第13週	「気のいいアヒル」「ひのまる」「スケート」	第31週	コンコーネNo7,8,10 [Caro mio ben]		
第14週	コンコーネNo1・4・5 「遠くへ行きたい」	第32週	コンコーネNo7,8,10 [Caro mio ben]		
第15週	コンコーネNo1・4・5 「荒城の月」	第33週	後期定期試験練習		
第16週	コンコーネNo1・4・5 「犬のおまわりさん」	第34週	後期定期試験練習		
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1		
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点					
合唱					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：特に使用しない				
参考書	：				
6. 注意事項					

発達心理学（前期）					
担当教員	小林久美子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科				
	種別	講義	単位時間	34 単位時間	
1. 概要					
	目的	人間の発達段階と発達課題といった基礎的な知識を学ぶことにより、音楽療法に役立てることを目的とする。			
2. 講義計画					
	第 1 週	自己紹介・発達とは（ベビーシエマ、原始反射）			
	第 2 週	赤ちゃんの五感、気質、微笑み			
	第 3 週	身体の発達 ハーローの実験 ポウルビィ愛着理論			
	第 4 週	親子関係 兄弟の性格 人見知り 分離不安			
	第 5 週	「遊び」について、遊びの価値 プレイセラピーと音楽療法			
	第 6 週	遊びの発達			
	第 7 週	スクイグル アクスラインの 8 原則（プレイセラピー）			
	第 8 週	ことばの発達			
	第 9 週	思考の発達（ピアジェ） 感情の発達			
	第 10 週	エリクソンの理論 乳児期 乳児前期			
	第 11 週	エリクソンの理論 幼児後期 児童機			
	第 12 週	エリクソンの理論 思春期（前期）			
	第 13 週	エリクソンの理論 思春期（後期）			
	第 14 週	エリクソンの理論 成人期			
	第 15 週	エリクソンの理論 壮年期 老年期			
	第 16 週	発達障害 自閉症とは（映画「レインマン」）			
	第 17 週	後期定期試験 1			
	第 18 週	後期定期試験 2			
3. 関連科目及び注意点					
	臨床心理学				
4. 成績評価の方法					
	日常点および定期試験（筆記試験）により評価				
5. 教科書及び参考書など					
	教科書	：プリントにて対応			
	参考書	：			
6. 注意事項					

科 目		臨床心理学（後期）			
担当教員	小林久美子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法士・セラピスト養成学科				
種別	講義	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法士として、精神疾患や発達障がいのある方に、心理的援助を行うための理論を学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	臨床心理学とは フロイトの理論				
第 2 週	エゴグラム実習 質問紙法について				
第 3 週	ジョハリの窓 「役割」は人を変える				
第 4 週	カウンセリングについて 傾聴と共感 1				
第 5 週	カウンセリング技法 カウンセリングの実際 (DVD)				
第 6 週	カウンセリングの制限 心理検査 (性格検査) について				
第 7 週	Y-G 性格検査実習				
第 8 週	SCT 検査について				
第 9 週	HTP テスト 風景構成法				
第 10 週	P-F スタディ実習 P-F スタディについて				
第 11 週	TAT CAT 投影法とは				
第 12 週	心の病について 自閉症 1				
第 13 週	心の病について 自閉症 2				
第 14 週	心の病について 知的障がい				
第 15 週	知的障がいの人とのかかわりあいを考える				
第 16 週	障害の受容について				
第 17 週	後期定期試験 1				
第 18 週	後期定期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					